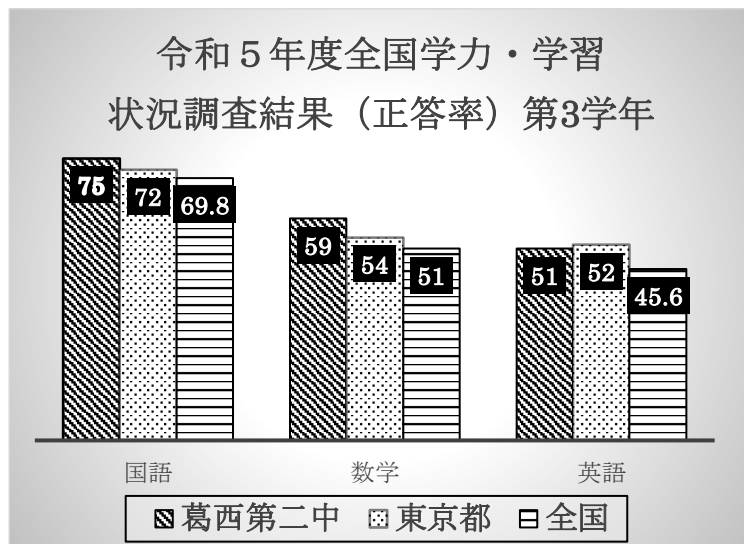


令和5年度 全国学力・学習状況調査 結果から

令和5年度の全国学力・学習状況調査が令和6年4月18日に全国の中学3年生を対象に実施され、先日結果が発表されました。実施された教科は国語・数学・英語の3教科です。その結果（正答率）を、棒グラフにしました。



国語は、東京都・全国の結果と比べ、とても高い結果が出ています。問題別の結果を見ると、区分「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」と区分「読むこと」に優れていることがわかりました。しかし、区分「情報の扱い方に関する事項」が本校の課題であることもわかりました。今後、授業の中で取り組んでいきます。

数学も、東京都・全国より高い結果が出ています。問題別の結果を見ると、区分「数と式」「図形」「関数」「データの活用」が優れていることがわかりました。しかし、区分「データの活用」の「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうか」をみる問題の正答率が他の問題に比べて少し正答率が低くなりました。今後、授業において復習を行います。

英語は、東京都より少し低く、全国より高い結果が出ています。問題別の結果を見ると、区分「読むこと」が優れていることがわかりました。しかし、区分「聞くこと」が課題であることもわかりました。今後、授業の中で取り組んでいきます。また、「疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる」問題の正答率が低かったため、今後授業において復習を行います。

この調査では、3教科以外に「生徒質問紙」という調査もありました。その中で、「授業の内容がわかる」という質問があります。国語が90.9%（東京都80.9%、全国80.0%）、数学が90.1%（東京都75.6%、全国73.3%）、英語が71.3%（東京都65.8%、全国63.9%）と葛西二中は東京都・全国を大きく上回っています。